

市民と議会を結ぶ架け橋

# 上野原市 議会だより

No.59

令和元年  
11月発行

9月定例会



特集

うえのはらで頑張る人  
本町お囃子保存会

うえのはらで頑張る人……………	2
定例会で決まった主なこと…	4
会期中の審査……………	6
予算特別委員会……………	7
決算特別委員会……………	8
高校生の傍聴……………	11
議決結果等一覧表……………	12
一般質問……………	13
閉会中の委員会の活動………	18
意見交換会のお知らせ………	19
市民の声……………	20



## うえのはらで頑張る人 vol.12 本町お囃子保存会



上野原のお祭りに欠かせないものの一つにお囃子があります。このお囃子を後世まで残そうと尽力されている大人の方と、その期待に応えようと練習している子どもたちがいます。今回は本町お囃子保存会のみなさんにお話をお聞きしました。

日本の文化と上野原の伝統を  
「私たちの手で残したい」

### 保存会について教えて

- 昭和43年本町祭りから始まり、現在の「本町お囃子保存会」になっています。
  - いつもは、小学生から高校生まで8名と大人5名で主に練習しています。祭り当日は市外に就職した会員も応援に駆けつけてくれます。
  - お兄さんがやっていて、楽しそうだから一緒に始めました。
- 演奏の披露はどこで**
- 今年も牛倉神社祭典で、9月8日正午から市道と国道で、山車で披露しました。





- 平成25年11月10日の国民文化祭で、もみじホールでも披露しました。
  - 県外でのイベントや、数年前西原ふるさと祭りに招待されました。披露できる所があれば会員と調整して参加します。
  - 屋台、昇殿、神田丸、鎌倉、四丁目、印旛、屋台、印旛の流れで演奏し、1回が30分程度かかります。
- 練習は楽しいですか**
- 年間通して毎週火曜日の夜、上野原中部地区防災センターで練習をしています。祭典前は1週間続けて練習しています。
  - 太鼓がたたける様になった時や、褒められ



- た時が、楽しいです。
  - もっと上手な人がいるので、その人を目標に練習してレベルアップしたい。
- 伝えたいことは**
- 毎週楽しく練習をしているので、やってみたいと思う人は、子ども、大人関係なく気軽に来て欲しい。
  - 日本の文化や、地域の伝統をこれからも伝えていきたい。
  - 練習の成果をいろんな所で発表したい。
- 議会、市への要望は**
- 数年前に衣装を、市の助成金で新調できたのでありがたかったです。これからも色々な相談に乗ってほしい。
  - 指導者も高齢になってくるので、若い人が受け継いで、指導者になって続けて欲しい。

### 新町保存会

■ 新町お囃子保存会は、本町よりも一年早く昭和42年に結成しました。本町保存会の結成とともに、二つの保存会はお互いに協力し合い、競い合って現在に至っています。今後も上野原の伝統を守るために共に頑張っていきたいと思えます。



### 取材を終えて

お祭りを盛り上げ、貴重な伝統を残そうと練習をされている皆さんのお話をお聞きし、その熱意に感動を覚えるとともに、上野原の将来への明るさを感じ心が和みました。

## 9月定例会

# 定例会で決まった 主なこと

令和元年9月3日から24日まで22日間の日程で令和元年第3回定例会が開かれました

### 審議された議案

市長提出議案	32件
請願	1件
発議	1件
計	34件

※議案名・議決結果等は12ページをご覧ください。

## 条例制定

### 障害者が乗る軽自動車税の 免除の範囲が広がります

議案第70号 上野原市税条例の一部を改正する条例制定について

障害者が乗る軽自動車の軽自動車税の免除の範囲が拡大されました。18歳以上の身体障害者でも、所有者・運転者が同居する生計同一者（同居家族）であれば、免除対象となります。また、同居者が未成年者や70歳以上であれば、常時介護運転者が同居していなくても、同居家族の所有する軽自動車の軽自動車税が免除対象となります。

普通自動車については、県税なので市の条例の対象ではありません。

## 条例制定

### 3歳以上の保育園児・こども園児・ 幼稚園児の無償化が始まります

議案第74号 上野原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

消費税増税に伴って、10月1日から3歳以上の幼児教育・保育が無償化となりますが、その根拠となる条例改正が行われました。対象は保育所・こども園・幼稚園です。無償化ですが、給食費（4100円）が徴収されます。市民税非課税世帯の3歳未満児も無償化の対象です。

保育所・こども園の保育料の金額は、別途市長が決定をします。給食費の徴収によって現行の保育料よりも高くなる措置がとられます。

この条例改正について、議会最終日に市長から議案の訂正について申し出がありました。政府の政令の誤りによって9か所の訂正がありました。本会議を暫時休憩し、付託された文教厚生常任委員会で補充の審査が行われました。



議案第78号 令和元年度上野原市一般会計補正予算(第3号)

正算  
補予

一般会計1億8745万8千円が  
増額されました

総務管理費

中央監視システム更新事業

5280万円

社会福祉費

介護保険支援事業費

323万9千円

高齢者福祉計画のための実態調査費等

児童福祉費

学童保育事業費

159万円

風の子クラブ(島田小)を新築するための設計費用

私立幼稚園授業料無償化

2504万円

幼児教育・保育の無償化に伴う私立幼稚園に対する

補助金。財源は国庫負担金

清掃費

塵芥処理費

3129万6千円

灰移送コンベア等の修繕

請願第3号

教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度  
拡充を図るための請願書

請願

子どもたちの豊かな教育の実現へ  
国に意見書の提出をもとめる

子どもたちのゆたかな学びを実現するために、少人数学級の推進、義務教育費の国庫負担の二分の一への還元、地方交付税を含む国における教育予算の拡充のために国に意見書を提出することを求める請願です。

議案第99号 荻野用水路水路橋架設災害復旧工事請負変更契約締結について

契約  
変更

荻野用水路の災害復旧工事の  
契約額の変更が行われます

29年の台風21号によって被害を受けた仲間川簡易水道の荻野用水路水路橋について、工事内容の変更を余儀なくされ、契約額が変わりました。

変更前

2億7324万円

変更後

2億8321万7千円

997万7千円増額

契約の相手方 天野工業・田村組共同企業体

なお、この災害復旧工事は国庫補助事業です。

発議第3号

教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充  
を図るための意見書

発議

教職員の定数改善など教育費の拡充を  
求める意見書を国に提出します

国に対して次の項目の意見書を提出します。

- 計画的な教職員の定数改善と少人数学級の推進
- 義務教育費国庫負担の堅持と二分の一負担へ還元
- 地方交付税を含む国の教育予算の拡充

提出先 衆参両院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣

財務大臣、総務大臣

## 総務産業常任委員会

委員長 栄友長  
 副委員長 杉本純雄  
 委員 白鳥 薫  
 山口 洋昭  
 東山 侯修  
 小本 公文  
 杉部 幸喜  
 岡部 重  
 尾形 重

9月5日、委員会を開催し、付託された条例制定5議案を審査しました。

議案第69号「上野原市印鑑条例の一部を改正する条例制定について」は、住民票等に旧姓の併記が可能となるよう、住民基本台帳法施行令等の一部改正が行われたことにより、これに準拠する印鑑条例の一部を改正するものです。

議案第70号「上野原市税条例の一部を改正する条例制定について」は、山梨県における身体障害者等のための自動車税の減免制度見直しに伴い、軽自動車税についても減免規定に関する改正を行うもので、減免対象車両の所有者要件を拡大し、常時介護者運転における世帯要件も見直すとのことでした。

議案第76号「上野原駅南口駅前広場条例の一部を改正する条例制定について」は、上野原駅

周辺整備事業の換地処分に伴い、地番を改めるものです。

**Q** 上野原駅周辺整備事業が完了し、組合が解散するのはいつか。

**A** 今年度末に解散する予定となっています。

以上、当局提出の5案件については、いずれも全会一致で、原案どおり可決すべきものと決定しました。

また、審査終了後、所管事務調査として、荻野用水路災害復旧工事の現地調査を行いました。



## 文教厚生常任委員会

委員長 美智子  
 副委員長 藤原幸  
 委員 尾形 弘  
 内田 倫雄  
 八木 好博  
 川島 秀夫  
 山口 好昭  
 山田 喜巳  
 長田 喜巳

9月5日、委員会を開催し、付託された条例改正等6件、請願1件を審査しました。

議案第74号「上野原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について」は、子ども・子育て支援法の一部を改正する法律および特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令の施行に伴い、条例の一部を改正するものです。

**Q** 内閣府の政令に誤りがあり、3歳以上児と3歳未満児の取り違え等あったが、反映しているか。

**A** 現時点で反映させるべき部分は対応済です。

本案については、その後、当局より議案の一部を訂正する申し出があり、再度委員会を開催し審査の結果、全会一致で訂正

後の原案どおり可決すべきものと決定しました。

請願第3号「教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための「請願書」については、子どもたちの豊かな学びを実現するために、少人数学級の推進、義務教育費の国庫負担割合の2分の1への復元、地方交付税を含む国における教育予算の拡充を求めるとしています。

審査の結果、全会一致で採択すべきものと決定しました。



# 補正予算の審査を行いました

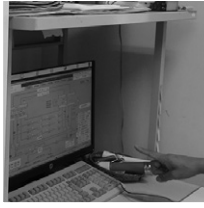
9月5日予算特別委員会が開かれ、付託された15議案について各課から関係職員の出席を求め審査を行いました。

■ 一般会計は1億8745万8千円が増額補正されました。

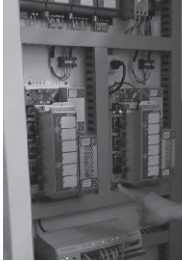
歳入の主な増額項目は、地方交付税の交付額確定3396万8千円、繰越金9829万9千円です。

支出については、委員からの質問に次のような回答がされました。

中央監視システムは、複数のシステムから構成されていますが、大本である中央管理装置と各システムをつなぐネットワークコントローラが老朽化により



中央監視システム



故障し、更新する必要があると説明されました。

鳥獣対策費が115万円増額されましたが、捕獲頭数について、イノシシが90頭から180頭、二ホンジカが200頭から220頭、ニホンザルが40頭から20頭に変更が行われました。

住宅管理費が400万円増額されました。小沢東団地のリフォーム5軒分で再入居のために、大道団地（原地区）からの転居に備えていると説明されました。

■ 介護保険特別会計では、高齢者介護福祉計画及び介護保険事業計画策定のための実態調査の委託料が計上されました。実態調査の対象となる65歳以上の方は3月末で8228人です。その中から2500人程度を選びアンケート調査を行うと説明



小沢東団地

がされました。

■ 簡易水道事業特別会計で、公用車修繕等の施設管理費が67万5千円の増額がされました。

委員からは、車検直前の修繕であり、今後は修繕で対応するのか、新規リース等に切り替えるのか、精査すべきであるとの意見が出されました。

■ 財産区特別会計の補正予算は、繰越額の確定に伴い、交付金や予備費を増額補正・減額補正をするものです。

補正予算が可決される以前に予算執行している事例がいくつかあり、不適切であることが指摘されました。

15議案は審査の結果、すべて全会一致で可決すべきものと決定しました。

## 予算特別委員会

委員長 岡部 幸喜  
副委員長 杉本 友栄  
委員 内田 倫弘  
東山 洋昭  
尾形 重寅

八木 一雄  
小俣 修

山口 薫  
杉本 公文

白鳥 純雄  
川島 秀夫

遠藤 美智子  
山口 好昭

川田 好博  
尾形 幸召

30年度  
決算

私たちの納めた税金の  
使い道を審査しました

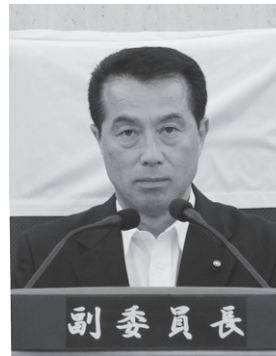
平成30年度の決算認定について、議長と監査委員を除く14名の議員で決算特別委員会を設置し、9月9日、11日、13日の延べ3日間にわたり審査を行いました。

各課から担当者の出席を求め、平成30年度の1年間に使われたお金について、無駄なく効率的に使われたかどうか、その成果等について審査を行いました。延べ98件について質疑が行われましたが、その中でいくつかの件について、次ページ以降要約を載せます。

また、最終日の午後には、決算全体について3人の委員が総括質疑を行いました。

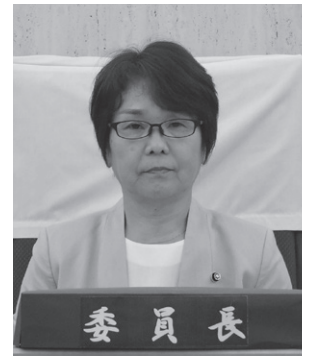
審査の結果、議案第93号「平成30年度上野原市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について」は、異議があり、起立採決した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

また議案第94号「平成30年度上野原市病院事業会計決算認定について」は全会一致で認定すべきものと決定し、議案第95号「平成30年度上野原市病院事業の資本金の額の減少について」も全会一致で可決すべきものと決定しました。



副委員長

白鳥純雄副委員長



委員長

遠藤美智子委員長

平成30年度の決算規模

一般会計

歳入	107億9891万6162円	前年度比	△18.5%
歳出	102億7491万6301円	前年度比	△19.7%

特別会計 (16会計)

歳入	70億1464万6818円	前年度比	△6.5%
歳出	65億8217万3682円	前年度比	△7.7%

決算特別委員会

委員長	遠藤美智子				
副委員長	白鳥 純雄				
委員	内田 倫弘	八木 一雄	山口 薫	川田 好博	東山 洋昭
	小俣 修	川島 秀夫	杉本 公文	山口 好昭	杉本 友栄
	岡部 幸喜	尾形 重寅			



## 備蓄食料品の購入

**Q** 非常食料を購入したと聞いたが、その種類と備蓄先はどこか。

**A** 今年度はアルファ米5000食、クッキー2500食、水500ml×1680本購入し、各備蓄倉庫に保管しています。計画数は計18000食ですが、現在32000食(帰宅困難者含む)あります。

## 防災リーダーの養成

**Q** 自主防災組織の育成を図ったとあるが、どのような養成を行っているか。

**A** 毎年県で開催の防災リーダー養成講座を、各地区の防災会長等に受講していただき、防災指導員には、防災士の養成の講座を受講していただいています。30年度は、各区長を対象に市から出向いて防災(共助)の説明をしています。

## 富士山の噴火対策

**Q** 近隣市町村との協力はどうなっているか。

**A** 富士山が噴火した時に近隣の市町村で協力し合い支援をしていく中で忍野村が上野原市と協定を結んでおり、毎年協議をしています。忍野村の被災者を当市で受け入れることになっています。



## 消防団員防火着購入費

**Q** 防火着配布計画と一着の購入単価は。

**A** 5年計画で配布を行い、今年が3年目となります。全ての部に配布するため、随意契約で購入し各分団ごとに順番を決めて配布しています。一着の購入単価は、6万9000円です。

## 蜂防護服の貸出

**Q** 蜂防護服を購入したが、1着の値段と貸出方法は。

**A** 防護服の値段は、1着9万1800円です。生活環境課で保管し、貸し出しを行っています。

連絡先 電話：62-3114

### いじめの現状と相談室

**Q** 小中学校のいじめの現状と相談室の効果について伺いたい。

**A** いじめ件数は30年度小学校5校で263件、中学校3校で40件。前年度から6件減少しています。各学校の教職員間で話し合い、いじめの未然防止に努めています。相談室は主に不登校など197件の相談実績がありました。

### ボランティア・ポイント

**Q** ポイント交付金の予算執行率が8.8%と低いのは何故か。

**A** 65歳以上の高齢者がボランティア活動を通じて高齢者自身の介護予防を図る事を目的としていますが、活動に参加する事をためらう方が多く、又、制度の普及・啓発も弱く活動が停滞しています。今後は情報発信に力を入れていきます。

### 商工会への補助は

**Q** 補助金1332万円の内訳は。

**A** 指導環境推進補助金370万円は商工会のハード的な部分を含めた補助金です。部門別の補助金221万円は各部会への補助金です。事業補助金741万円は商工祭等の事業や経営指導を行うための補助金です。

### MCSの説明を

**Q** MCSの使われ方と今後の展望。

**A** MCS(メディカルケアシステム)は、医療・介護関係者の情報共有をめざしています。現在、医療従事者、介護事業所関係者の方190名に登録していただいています。グループを作り、情報交換、研修会等の周知を行ったりしています。色々なPRの場となっているので登録者数を増やしていきたいと考えています。

### 福祉センターの維持管理

**Q** 光熱費の利用内訳と今後福祉センターの維持管理費をどの程度想定するか。

**A** 電気、水道、エアコン、お風呂を沸かすガスなどの使用で約440万円、30年度の維持管理費は5278万円で、そのうち道路改良請負費(2869万円)が含まれているので、それを除いた金額で推移すると思います。



総合福祉センター ふじみ

## 簡易水道組合基金について

**Q** 1300万円程度あった基金が30年度末残高は325万円と大きく減少し、積立も出来ていない状況だ。今後運用を含めどうするつもりか。

**A** 現在は赤字運営で厳しく積立は難しいです。今後は経営基盤の強化を図り、積立のできるような健全経営を目指します。

## 顕微鏡の購入の国庫補助は

**Q** 中学校で生物顕微鏡、双眼実体顕微鏡が購入されているが、理科教育振興法（理振法）で国庫補助が受けられるはずだが。

**A** 理振台帳は整備していますが、今回は利用しませんでした。今後、各学校に調査を行い、国庫補助が利用できるよう検討していきます。

## 傍聴

## 上野原高校のみなさんが 決算特別委員会を傍聴しました



9月13日、決算特別委員会での長寿介護課の審査の時に、上野原高校3年生15人の生徒が傍聴に来ました。

熱心にメモを取り、終わってから感想を寄せていただきました。

今回、私は初めて議会を傍聴させてもらって、とても有意義な時間になった。私は上野原市民ですが、普段どのような事を議会でやっているのか知る機会は少なく、さほど興味もなかった。しかし、今回のこの時間を通し上野原の介護などに関係する費用がどれくらいなのか知ることができた。上野原市議会が取り組んでいる「開かれた議会」というのは、私達のような若い世代にとってもよい勉強になりました。



安藤 諒悟さん  
(上野原高校 3年)

令和元年第3回定例会議決結果等一覧表

◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者)

議案番号	案 件 名	付託委員会	内田倫弘	八木一雄	山口 薫	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	東山洋昭	小俣 修	川島秀夫	杉本公文	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果	
93	平成30年度上野原市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	○	○	●	○	○	◎	○	○	○	●	○	議長	○	○	○	○	○	認定

◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案 件 名	審議結果
68	総務産業	上野原市職員給与条例の一部を改正する条例制定について	可決
69		上野原市印鑑条例の一部を改正する条例制定について	
70		上野原市税条例の一部を改正する条例制定について	
71	文教厚生	上野原市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	
72		上野原市仲間川簡易水道事業給水条例及び上野原市秋山簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	
73		上野原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	
74		上野原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	
75		上野原市特定教育・保育に係る利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例制定について	
76	総務産業	上野原駅南口駅前広場条例の一部を改正する条例制定について	
77		上野原市手数料条例の一部を改正する条例制定について	
78	予算特別	令和元年度上野原市一般会計補正予算(第3号)	
79		令和元年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	
80		令和元年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	
81		令和元年度上野原市介護保険特別会計補正予算(第2号)	
82		令和元年度上野原市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	
83		令和元年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	
84		令和元年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	
85		令和元年度上野原市大目財産区特別会計補正予算(第1号)	
86		令和元年度上野原市甲東財産区特別会計補正予算(第1号)	
87		令和元年度上野原市巖財産区特別会計補正予算(第1号)	
88		令和元年度上野原市島田財産区特別会計補正予算(第1号)	
89		令和元年度上野原市上野原財産区特別会計補正予算(第1号)	
90		令和元年度上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計補正予算(第1号)	
91		令和元年度上野原市秋山財産区特別会計補正予算(第1号)	
92		令和元年度上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計補正予算(第1号)	
94	決算特別	平成30年度上野原市病院事業会計決算認定について	認定
95	決算特別	平成30年度上野原市病院事業の資本金の額の減少について	可決
96	文教厚生	損害賠償の額を定めることについて	可決
97	—	平成30年度上野原市継続費精算報告書の報告について	受理
98	—	平成30年度上野原市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	
99	—	荻野用水路水路橋架設災害復旧工事請負変更契約締結について	可決
請願3	文教厚生	教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	採択
発議3	—	教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書	可決

※ 「—」は委員会付託が省略された議案です。

事業系ごみの削減を  
市民の協力で資源化を



川田好博

**質問** ごみ対策推進協議会の二年間の成果はどうか。

**答弁** プラスチックごみやアパールのごみなど意見が出ましたが、まとまるどころまでは行きませんでした。

**質問** その原因は。

**答弁** 準備が不足していました。

**質問** 前期計画では家庭系ごみは減少し、事業系ごみは増加している。事業系ごみの削減が重要課題ではないか。

**答弁** 事業系ごみは前期計画策定以降に開発・進出や事業活動が増えた結果です。家庭系・事業系とも削減に努めていきたい。

**質問** この間事業所は増えているのか。

**答弁** 商工会に入っている機械器具工業部会の会員数は減っています。ここ3年間の工業立地は増えています。

**質問** 事業系ごみの削減の取り組みは。

**答弁** 事業系ごみは、クリーンセンターに持ち込み時に、分別・削減の努力を促しています。

**質問** 他県からのごみの持ち込みの指導は。

**答弁** 確認等ができていません。

**質問** 事業系ごみの資源化率を定める必要があるが。

**答弁** 今後検討していきたい。

**質問** ごみの収集に関して、市民の意識を高める、自主的な団体の協力を求めるというのが基本と思うが。

**答弁** 市民の協力を求めています。他に、障害者問題、四方津駅周辺の問題の質問をしました。



上野原こども園に関する裁判について



杉本公文

**質問** 議会に予算説明した土地購入費、2億5200万円の積算根拠とした土地鑑定書を、市は、破棄し現存しないと主張するが、誰が破棄を指示したのか、どの様な手続きが行われたのかを伺います。

**答弁** 今後の裁判の争点になるので答弁は控えます。

**質問** 手続きについては争点となっていないので答えるべきです。甲府地裁で市は敗訴し、東京高裁に控訴しましたが、その費用は、2つの法律事務所の弁護士費用が殆どです。その費用の根拠は、市が受ける経済的利益の10%以内として、一方の法律事務所に665万3千円を支払う契約とさせています。市が5050万円を請求せよと言うものであり、経済的利益は江口市長個人に該当するものです。よつ

**答弁** 事実関係が違う、全く異なったものから発生している判決です。それに伴う50万円ですので、市は請求しませんし、それに伴う弁護士費用であると言うように考えています。

**意見** 判決が変わっても変わらない。市は経済的利益は請求文書費用の数千円にすぎない。弁護士費用は市が負担すべき正当な根拠はなく、江口市長個人が支払うべき費用である。



## 高齢者の安全運転への支援 ごみの減量化



遠藤美智子

質問

当市のように、広大な土地に住居が点在していて、なお且つ、路線バスが市全体を網羅しているわけではなく、高齢者が身体が衰えや

質問

運転を続ける自信がなくなってきたとしても、生活の足として車の運転は欠かせない環境にある。近年、高齢者の運転による事故が高まっている中、東京都ではアクセルとブレーキの踏み間違いによる「急発進防止装置」の設置にかかる補助制度が開始した。当市としても購入補助の必要性があると考えが。

質問

は、市民のニーズに対応できるのか。

質問

今回の実証運行で改善点を見つけ、本格運行につなげられるよう進めて参ります。

質問

ごみを削減するために、今一番にすべきことは。

質問

ごみの減量やリサイクル推進のために、市民の意見を反映し、普及・啓発活動していくことが大切と考えています。

意見

毎年ごみ処理費に莫大な税金が投入されていることを市民の皆さんに知っていたくことが大切。今後の減量化に向けて、市独自の発想でスピード感を持って進めてほしい。

質問

平成27年度にスタートし、本年度が5年間の最終年度となる上野原市総合戦略は将来にわたり活力あるまちを維持していく為の施策や事業です。この取り組みに対する進捗内容やKPIの最終見込みは。

質問

総合戦略では、①魅力ある雇用を創出する、②上野原への新しいひとの流れを作る、③若者世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④安全・安心な暮らしを守り連携と協働で郷土愛あふれるまち・人をつくるの4分野を柱に、全部で41事業を掲げ取り組んでいます。各事業の進捗は概ね8割程度計画に沿った推移です。また、人口減少には歯止めがかからず目標未達成と厳しい状況ですが、最近の当市の人口動態をみますと、人口減少について僅か

質問

が見えてきています。現総合戦略の全体総括と次期総合戦略の構想は。

質問

市民の皆様が安全・安心に生活を営むことができる地域基盤の整備、個性豊かな人材の確保・育成など諸施策を一体的に推進して総合戦略に沿って取り組みを進めています。今後も財政運営が厳しくなることが予想されますが、生活基盤の整備と併せて、人づくり、地域づくり視点に置いたまちづくりを進め「住んで良かった」「住みたい」と思われるまちにしていくための戦略策定に取り組んでいきます。

質問

10月1日より、循環バスが実証運行します。循環バス



## 上野原市総合戦略の取り組みと KPI（達成すべき成果目標）



八木一雄

質問

平成27年度にスタートし、本年度が5年間の最終年度となる上野原市総合戦略は将来にわたり活力あるまちを維持していく為の施策や事業です。この取り組みに対する進捗内容やKPIの最終見込みは。

質問

総合戦略では、①魅力ある雇用を創出する、②上野原への新しいひとの流れを作る、③若者世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④安全・安心な暮らしを守り連携と協働で郷土愛あふれるまち・人をつくるの4分野を柱に、全部で41事業を掲げ取り組んでいます。各事業の進捗は概ね8割程度計画に沿った推移です。また、人口減少には歯止めがかからず目標未達成と厳しい状況ですが、最近の当市の人口動態をみますと、人口減少について僅か

質問

が見えてきています。現総合戦略の全体総括と次期総合戦略の構想は。

質問

市民の皆様が安全・安心に生活を営むことができる地域基盤の整備、個性豊かな人材の確保・育成など諸施策を一体的に推進して総合戦略に沿って取り組みを進めています。今後も財政運営が厳しくなることが予想されますが、生活基盤の整備と併せて、人づくり、地域づくり視点に置いたまちづくりを進め「住んで良かった」「住みたい」と思われるまちにしていくための戦略策定に取り組んでいきます。

質問

10月1日より、循環バスが実証運行します。循環バス



企業版ふるさと納税への期待

質問

この制度の概要は。

志のある企業が寄付を通じて地方公共団体が行う地方創生の取り組みを応援した場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組みです。

意見

新たなパートナーシップの構築等を通じ、企業とのつながりをつくる中で、市で活用できるプロジェクトを検討していきたいと考えています。

具体的には国が認定した地方公共団体の地方創生活プロジェクトに対し、企業が寄付を行った時に寄付額の約6割が軽減され、実質的な企業負担は約4割まで圧縮されるものです。企業にとっては、社会貢献に取り組み企業としてのPR効果が期待できること、自治体にとっては、プロジェクトの財源が確保でき、企業との間で新たなパートナーシップの構築の可能性が広がることなど、効果が大変期待できます。

質問

企業への積極的なアプローチは。

答弁

企業版ふるさと納税制度は魅力的であり、当局として



東山洋昭



この企業版のふるさと納税が、当市の活性化と市民の協働がさらに加速して、住みやすい、住んでよかったと実感していただけるような議会と行政が車の両輪となつて頑張っていければと思っています。

他に、ごみ減量化等について質問しました。

将来の上野原のために今出来ること

質問

地球温暖化防止及び原発の代替エネルギーとして、各

家庭に設置した太陽光発電は、固定価格買取制度が今年で10年目を迎え順次終了します。このため、蓄電池又は電気自動車を購入する人が増えていきます。これらの購入に対する助成について伺う。

質問

のための情報を提供していただきます。

答弁

5G時代（情報通信の大容量化、高速化、機器のネットワーク化）における、市民のニーズに応える基本的な考え方について伺う。

答弁

市では平成30年度まで、太陽光パネル設置に対し助成して来ましたが、今後は太陽光の需要の推移を見ながら、蓄電池等について慎重に検討していきます。

質問

上野原市に一番近い原発が、何らかの事故で放射線が漏れ出した場合、当市への危険性について伺う。

答弁

当市に一番近い原発は浜岡原発で、距離は140kmです。距離的には安全とされていますが、事故の規模や気象の変化も考慮し、国や県からの正しい情報や安全



山口薫



他に、UBCへの支出金、防災行動力の向上、小規模水力発電所の設置、避難所の対応について質問しました。

市民に魅力あるまちとは



白鳥純雄

**質問** 職員一人一人の意識改革への具体的な取り組みを伺います。

**答弁** 職員の資質向上のために職員研修を実施し、他人事ではなく、自分事といった職員の意識改革に励んでいます。

**質問** 民間手法を取り入れた採用試験、どのような事を期待しての採用試験であったか伺います。

**答弁** 民間企業の採用試験で多く取り入れているSPI（総合適性検査）試験を導入し、広く人材を確保していくことを狙いとし、多くの受験者を確保し、市の発展のための貴重な人材にしたいと考えています。

**質問** 上野原で教育させたいと思ってもえたら、人の流れを変えられると思うが、教育現場はどう考えるか伺います。

**答弁** 多くの方に都心に近く自然豊かな上野原で、子育てを

して頂き少子化に歯止めがかかればと思います。桂川テニスコートの利用件数が232件と多い、今年度調査費が計上されているが現在の状況を伺います。

**質問**

**答弁**

**要望**

8月の入札により業者が決まりました、今年度中に結果が示されます。関係課の理解ある判断と来年のクローズ時期の着手に向けてを要望します。

他に、焼却炉、ゴミ処理への取り組み、火葬場稼働状況について、鳥獣被害の現状と対策について質問しました。



スクールバスの空き時間活用について



川島秀夫

**質問** スクールバスの空き時間活用の検討は進んでいますか。

**答弁** スクールバスの活用については、毎年、児童・生徒数の居住地によるルートの変更をしたり、学校行事で臨時運行、臨時運休する不確定なことが多くあります。

この中で、空き時間を活用して地域公共交通として運行するには、利用者への周知等が大変難しいのが現状です。

さらに、スクールバス活用とデマンドタクシーは、交通弱者対策という同じ運行目的で、運行区域も重複しており、より効率的な運行を推進している中で懸念されるのは、利用客が分散し、結果、両者が持続不可能となってしまうということだと思います。

**質問** 一般利用客との相乗りについて。

**答弁** 5月28日に、川崎市でスク

ールバスのバス停で児童殺傷事件が発生、全国的に不審者等の事故が多発する中、不特定多数の方がスクールバスに乗ることで子供たちの安心・安全の確保の観点から難しい点があるのではないかと思われま

他に、人口減少問題、キヌアのブランド化、コモアブリッジ公道化について質問しました。





上野原市立病院事業が危惧される  
医師確保が最重要課題



尾形幸召

質問

市立病院の実績の推移と今後の病院事業の課題解決のためには何が必要なのか。

答弁

医業収益の推移は本年7月時が1億4674万円、前年同月が1億6162万円、90・8%です。外来患者の推移は本年7月時が6950人、前年同月6985人、入院患者は本年7月時が1546人、前年同月が1882人で前年同月比は82・1%です。常勤医師の推移は本年7月時が8人、前年同月が11人で72・7%です。非常勤医師の推移は、本年7月が41人、前年同月が40人です。看護師及び准看護師の推移は、本年7月時看護師が75人で前年比4人増、准看護師が10人で前年対比一名減です。病床稼働率の推移は、本年7月時が36・9%、前年同月は45・0%でした。手術件数の推移は、本年7月時が28

答弁

件、前年同月は43件でした。病院事業の一般財源負担増は今年度、運営交付金を含めて3億4200万円の繰出金の予定です。安定経営、運営を目指すための最重要課題は医師の確保です。このため、地域医療振興協会と市立病院管理運営協議会では定期的に協議を行っています。

上野原市立病院は市民にとって救急指定病院で絶対必要です。全国市長会でも地域医療確保協議会を立ち上げ国へ要望していますが、現時点では医師確保は非常に困難です。



員彰  
議表

全国市議会議長会及び山梨県市議会議長会より、次の方々が表彰されました。

- 全国市議会議長会表彰 (継続10年)
- 山梨県市議会議長会表彰 (継続10年)



尾形幸召 議員



杉本友栄 議員

まちづくり特別委員会

人口減少対策と市の活性化方策等を調査・検討するために、まちづくり特別委員会が設置されました。9月25日、二つの分科会に分かれ、それぞれのテーマで担当課の説明を受け、調査・検討を行いました。

第1分科会 公共交通のあり方について

委員 ○小俣 修 白鳥純雄 遠藤美智子 川田好博

山口好昭 尾形幸召 岡部幸喜 尾形重寅

第2分科会 経済の活性化と税収対策について

委員 ○八木一雄 内田倫弘 山口 薫 東山洋昭

川島秀夫 杉本公文 杉本友栄

※ ○印は主査

総務産業常任委員会

閉会中の継続調査として、8月20日「地域活性化について」秋山温泉、秋山マス釣場、緑と太陽の丘キャンプ場の現地視察を行いました。

■ 秋山温泉

指定管理者が変更になり1年が経過しました。初期投資や地域の状況を把握したことに、入館者数は着実に増加しています。今後広報活動や自主事業を行い、集客に努めていくとのことです。

■ 秋山マス釣場

食堂について設備が不十分であるため、消防本部から改修が必要であると指導がありました。委員から詳細を直接消防本部に確認に行くべきだとの意見が出されました。

■ 緑と太陽の丘キャンプ場

委員からオートキャンプ場として利用できないのかという質問について、電気施設や水道施設を外に配備しなくては

ならないとのことでした。委員からは、指定管理にするのか閉鎖するのか等、十分な検討が必要であるとの意見が出されました。

秋山マス釣場の食堂について、市消防本部を訪問しました。誘導灯の設置が必要の他、最低限の設備を整えれば許可が出せるとのことでした。

秋山温泉と秋山マス釣場については、連携してより集客が望める施設づくりを目指すこと、また、秋山マス釣場は、食堂が使用出来るようにすることなど、各施設を生かした地域活性化を図ることを要望しました。



文教厚生常任委員会

8月5日「子育て支援施設の現状について」市内の子育て支援施設4か所にて視察調査を行いました。

はじめに、総合福祉センターふじみに本年4月に開設した子育て世代包括支援センターで説明を受けました。妊娠・出産・子育てに関する様々なニーズに対する切れ目のない支援を目的として、各種相談やサービスをワンストップで行っており、母子手帳の交付・ケアプランの作成・妊娠前から学童期までのそれぞれの時期に応じた各種制度・子育て支援情報の提供を行っているとのことでした。

**Q** 母子手帳アプリの利用状況は。

**A** 母子手帳交付時に登録を勧められており、現在100名ほどの登録があります。アプリに予防接種の管理機能があることから、予防接種の多い1歳児の子を持つ母親の利用割合が多いです。

秋山保育所では、運営状況の説明を受けました。課題点として、保育所周辺の道路は車の通行量が多く危険なため、お散歩等で外に出ることができないことや、他の園等との交流の場が少ないという点があるとのことでした。

今後は、子どもの遊び場の改善や子育て支援施設をより多くの方に利用してもらえるのか等、さらなる議論を重ねていくことを要望しました。



## 上野原市議会と市民の意見交換会

# 市民のみなさんの 声を聞かせてください

11月10日(日) 18:00～20:00

もみじホール2階 会議室

テーマ：「これからのまちづくりを考える」

上野原市は地方分権化の流れの中で、厳しい財政状況や少子高齢化などさまざまな課題を抱えています。この解決のためには、市民のみなさんの知恵を市政に生かしていくことが大切と考えています。

議会と市民の意見交換会は、市議会として初めての試みです。

市民の方ならどなたでも参加できます。ご家族、ご友人をお誘いあわせの上、ご参加ください。

お問い合わせ

上野原市議会事務局 電話：0554-62-3344 FAX：0554-62-5344

Email：shomugiji@city.uenohara.lg.jp

## 第2回臨時会

談合坂スマートインターチェンジ  
用地確保のために裁判を起こします

8月19日、令和元年第2回臨時会が開かれました。市から議案第67号が提案されました。談合坂スマートインターチェンジに関連した土地取得のために裁判を起こすものです。域内に12人共有地があり、相続人が132人にもものぼり、所有権移転の手続きが行われました。最終的に意思が確認できない人など6人が残り、い人など6人が残りました。この6人に対して、土地代金を支払うことで所有権の移転を裁判で確定しようとするものです。裁判を起こすためには、地方自治法第96条で議会の議決が必要になります。12人共有地のうち、市道の対象となるのは65・96㎡です。

### 山日新聞に抗議

9月18日付山梨日日新聞のことも園訴訟にかかる市議会の

報道について、正確な部分があり、市議会として9月25日同新聞社に抗議をしました。

# 市民の声

## ボランティア活動は自身の介護予防

私は今年喜寿を迎えました。相応の疲労はありますが、毎週いくつかの活動に参加し、生きがいを感じています。その源となったのが4年半前に始めた市内の介護施設でのボランティアです。初めてのボランティアでしたので、当初はこのまま続けられるか不安でしたが、施設の職員さんや利用者さん達共、うちとけてお話しができるようになり、ボランティアに行くことが楽しみになり、これが自身の介護予防に繋がっていることを実感しています。



上野原市  
キャラバンメイト  
石田義愛さん

又、高齢化が急速に進む中、2025年には65歳以上の人の5人に1人が、認知症になると推定されています。上野原市も例外ではありません。認知症の人やその家族を支援する認知症サポーターを養成する上野原市キャラバンメイトの会の一員として、一人でも多くの市民がサポーターになり、認知症を理解し、認知症の人や家族を見守り、認知症の人でも安心して暮らせるまち、上野原市に住んでよかったと思ってもらえることを、目指し頑張っています。

## 12月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
11/24	25	26	27	28 本会議 (初日) 傍聴可	29 議案調査	30
12/1	2 委員会 予算特別 総務産業 文教厚生	3 議案調査	4 議案調査	5 議案調査	6 議案調査	7
8	9 一般質問 傍聴可	10 一般質問 傍聴可	11 一般質問 (予備日) 傍聴可	12 議案調査	13 本会議 (最終日) 傍聴可	14

### 議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

### 託児サービスを ご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局（62-3344）へお申し込みください。

議会だよりのQRコードです



### 編集後記

台風19号により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

「読みやすく見やすい議会だより」を目指し、特集の掲載がスタートして3年目になりました。特集で取材をさせていただいた団体は、今回の第59号で12団体となり、最近では「議会広報見ましたよ!」「〇〇さんが載ってましたね」と声をかけていただくこともあります。

これからも、一人でも多くの皆さまに、手に取って読んでいただける議会だよりにすべく努力してまいります。

(遠藤)

議会だより編集常任委員会

- 委員長 川田 好博
- 副委員長 白鳥 純雄
- 委員 内田 倫弘
- 委員 八木 一雄
- 委員 山口 薫
- 委員 遠藤美智子

